

徳島県GX推進計画（案）の主な変更内容

P	章	項目	対応（修正前）	対応（修正後）	備考	
1	1	計画策定の趣旨	—	<p>このような情勢を踏まえ、本県においては、「地球温暖化対策」と「エネルギー対策」を一体的かつ計画的に進めるため、「徳島県気候変動対策推進計画（緩和編・適応編）」、「徳島県版・脱炭素ロードマップ」、「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」、「徳島県水素グリッド構想」の5つの脱炭素関連計画を統合し、課題にスピード感をもって対応するとともに、重複する指標や施策などを整理し、県の施策を、体系的、かつわかりやすく提示することにより、加速するGX・脱炭素への取組について、行政、事業者、そして、県民に積極的に参画いただき、「県民主役」で脱炭素社会を具現化していくため、新たな計画を策定します。</p>	<p>このような情勢を踏まえ、本県においては、「地球温暖化対策」と「エネルギー対策」を一体的かつ計画的に進め、<u>それぞれの施策の相乗効果を発揮できるように</u>「徳島県気候変動対策推進計画（緩和編・適応編）」、「徳島県版・脱炭素ロードマップ」、「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」、「徳島県水素グリッド構想」の5つの脱炭素関連計画を統合し新たな計画を策定します。</p> <p>また、課題にスピード感をもって対応するとともに、重複する指標や施策などを整理し、県の施策を、体系的、かつわかりやすく提示することにより、加速するGX・脱炭素への取組について、行政、事業者、そして、県民に積極的に参画いただき、「県民主役」で脱炭素社会実現を目指すものです。</p>	環境審議会でのご意見
25	4	温室効果ガス排出量等の削減目標	2 中期目標	—	<p>クリーンエネルギー電力自給率2030年度目標の設定の考え方（再エネ種別目標）のグラフを追加</p>	環境審議会でのご意見
31,4 5	5	削減目標の達成に向けた対策	6 具体的な施策の展開 ①クリーンエネルギーの活用 ⑤県民総ぐるみによるGXの加速	<p>●脱炭素型ライフスタイルへの早期転換／県民・事業者・行政 脱炭素型ライフスタイルへの早期転換を図るため、新たに「太陽光発電設備・蓄電池・EV」を「脱炭素・三種の神器」と捉え、県民や事業者における導入を促進します。</p>	<p>●脱炭素型ライフ・ビジネススタイルへの早期転換／県民・事業者・行政 脱炭素型ライフ・ビジネススタイルへの早期転換を図るため、新たに「太陽光発電設備・蓄電池・EV」を「脱炭素・三種の神器」と捉え、県民や事業者における導入を促進します。</p>	環境審議会でのご意見
33、 39	5	削減目標の達成に向けた対策	6 具体的な施策の展開 ①クリーンエネルギーの最大限導入 ③脱炭素に向けた循環型社会の構築	<p>●「地域脱炭素」の推進／県民・事業者・行政 脱炭素を通じて地域課題を解決し、地域の魅力と質を向上させ、地方創生に貢献する「地域脱炭素」を推進します。</p>	<p>●「地域脱炭素」の推進／県民・事業者・行政 <u>「脱炭素先行地域」づくりに向けた取組をはじめ、地域資源を最大限活用したクリーンエネルギーの導入等により、地域の魅力や質を向上させ、雇用創出や人口減少などの地域課題の解決に繋げ、地方創生を実現する「地域脱炭素」の取組を推進します。</u></p>	環境審議会でのご意見

P	章	項目		対応（修正前）	対応（修正後）	備考
49	5	削減目標の達成に向けた対策	6 具体的な施策の展開 ⑤ 県民総ぐるみによるGXの加速	② 省エネルギー対策の徹底 気候変動の影響に備える取組（適応策） ● 県立学校体育館等への空調設備設置の推進	⑤ 県民総ぐるみによるGXの加速 気候変動の影響に備える取組（適応策） ● 県立学校体育館等への空調設備設置の推進	環境審議会でのご意見
2	1	計画の基本的事項等	2 計画の位置づけ	計画の位置づけの図 5 計画の統合の図のみ	計画の位置づけの図 環境基本計画に関連する他の個別計画と他分野の計画との関連性の図を追記	パブリックコメント
4	2	県内の温暖化による影響	1 「いのち」への影響	● 地域防災リーダーとなる「防災士」の登録者数：5,784名全国18位（令和5年10月末）	● 地域防災リーダーとなる「防災士」の登録者数（人口10万人当たり） ：821.6名 全国5位（令和5年10月末）	パブリックコメント
46	5	削減目標の達成に向けた対策	6 具体的な施策の展開 ⑤ 県民総ぐるみによるGXの加速	● 排出削減に対する必要な指導・助言／事業者・行政条例に基づく「温室効果ガス排出削減計画書」の提出義務のない中小事業者も対象に必要な指導・助言を行います。	● 排出削減に対する必要な指導・助言／事業者・行政条例に基づく「温室効果ガス排出削減計画書」の提出について、 <u>産業部門や民生部門（業務系）等の削減量が確実なものとなるよう事業者に対し、必要な助言・指導を行います。</u>	パブリックコメント
16	3	温室効果ガス排出量等の現状及び将来推計	3 クリーンエネルギー電力自給率の現状	電力自給率について、合計値のみ記載	電力自給率について、再エネ種別毎の数値とグラフを記載	その他
21	4	温室効果ガス排出量等の削減目標	2 中期目標	クリーンエネルギー電力自給率：50%超 ※国の「電力調査統計」や県企業局等の水力発電の実績などから算定	クリーンエネルギー電力自給率：70% ※国から示された算定方法に準じ、環境省が策定した「自治体排出量カルテ」の数値を用いるとともに、県企業局等の水力発電の設備容量を加えて算定	その他

P	章	項目		対応（修正前）	対応（修正後）	備考
32、40	5	削減目標の達成に向けた対策	6 具体的な施策の展開 ① クリーンエネルギーの最大限導入 ③ 脱炭素に向けた循環型社会の構築	—	●「徳島バッテリーバレイ構想」の推進／事業者・行政 脱炭素社会における成長産業である「蓄電池」について、サプライチェーンを見据えた「蓄電池産業の集積」を図り、「県民所得の向上」や「雇用の拡大」につなげるとともに、分散型エネルギー社会の実現を本県から推進します。	その他
32	5	削減目標の達成に向けた対策	6 具体的な施策の展開 ① クリーンエネルギーの最大限導入	●クリーンエネルギー新技術の先導的導入／行政 太陽光発電等の新技術を先導的に導入し、県内におけるクリーンエネルギーの新たな活用や普及促進に取り組みます。	●クリーンエネルギー新技術の先導的導入／行政 太陽光発電等の新技術を先導的に導入し、県内におけるクリーンエネルギーの新たな活用や普及促進に取り組みます。 <u>また、ペロブスカイト太陽電池をはじめ、世界中で研究開発が進む「次世代型脱炭素技術」について、幅広く情報収集を行い、関係者との連携協力を図りながら、県内への導入を促進します。</u>	その他
51	6	計画の推進	3 施策評価指標	4 県公用車の新規・更新における電動車割合100% ※ただし、代替可能な車両がない場合を除く。	4 県公用車の新規・更新における電動車割合100% <u>(うちEV割合10%)</u> <u>(23)100% (うちEV割合4.8%) →(30)100% (うちEV割合10%)</u> ※ただし、代替可能な車両がない場合を除く。	その他
52	6	計画の推進	3 施策評価指標	10 資源循環有効利用率（一般廃棄物リサイクル率） 16.6%(2021)→36%(2028)	10 資源好循環に向けた都市鉱山回収量（県民一人あたりの小型家電回収量） (20)1.08kg/人→2.2kg/人	その他
56	参考資料	参考資料	—	—	参考資料を追加	その他

P	章	項目		対応（修正前）	対応（修正後）	備考
別冊	—	—	—	—	「徳島県促進区域の設定に関する環境配慮基準」を追加	その他